

みんな

よくなれ

令和五年七月二十日発行

29 回生通信
第 21 号

自分は自分をつくる責任者

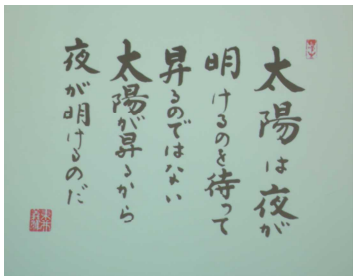
高校生活は、勉強が中心です。でも、勉強以外のこともたくさんあります。夏休みを前にしたこの時期は特にそうです。第二回定期考査が終わると、OB・OG講演会がありました。また、牧村教育委員による講演会もありました。十三・十四日には前期球技大会が行われました。JTBの岡部さんによるパスポート取得のための説明会もありました。十月二十三日からの研修旅行が近づいていることを感じます。

今回、OB・OG講演会に来てくださった東井先輩は、講演会の終わりにお爺さんが残された二つの言葉を紹介されました。お爺さんは豊岡市に記念館もある有名な教育者だということですので、そのお爺さんを少し紹介したいと思います。

お名前は、東井義雄といます。昨年、学年集会で中野先生が紹介されていたのを覚えている人もいられませんか。記念館は、豊岡市但東町にあります。

お爺さんは、明治四十五年に但東町のお寺の長男として生まれました。姫路師範学校を卒業後、小学校の先生になりました。後には、小学校や中学校の校長先生をされ、多くの著作も残されて、正力松太郎賞、平和文化賞、文部省教育功労賞などを受賞されました。同世代の相田みつをととは影響を与えあっていたのかもしれない。そのお爺さんのお言葉を紹介します。初めの二つが東井先輩が紹介してくださいました。

- 自分は 自分の主人公 世界でただひとりの 自分をつくっていく 責任者
- 太陽は夜が明けるのを待って昇るのではない 太陽が昇るから 夜が明けるのだ
- 一番は もちろん尊い しかし 一番よりも尊い ビリだつてある
- 見えないところで 見えないものが 見えないところを支え 生かし 養い あらしめている
- 苦しみも悲しみも 自分の荷は 自分で背負って 歩きぬかせてもらう わたしの人生だから



興味を持った人は東井義雄を調べてみてはどうでしょうか。

OB・OG講演会

七月八日(土)、十四時三十分からOB・OG講演会が開かれました。OB・OG講演会は二年生を対象に行われている附属恒例の行事です。OB・OGの先輩方に附属へ来ていただいて、お仕事のこと、資格取得のこと、職場でのことなどをお話していただきました。今年も同窓会の協力によって開催できました。

今年の講演会には六名の方が来てくださいました。一回25分間、先輩方には二回お話をいただきました。生徒は事前の希望調査によってお二方の話を聞きました。OB・OGの方々のお名前とご講演のテーマは以下の通りです。

- 1 回生 小谷 一哉 様 プラズマ研究開発から装置設計まで
- 2 回生 長島 聖大 様 博物館学芸員の仕事
- 4 回生 東井 和臣 様 多様な兵庫を支える、多様な県職員
- 9 回生 横田 隼一郎 様 病院での臨床検査技師の役割
- 16 回生 田路 隆了 様 これからの薬剤師の働き方
- 17 回生 原 美紗稀 様 放射線技師から高校2年生の皆さんへ

勉強になることが多く、進路選択の参考にもなる有意義な講演会でした。さらに先輩方の魅力的な話術のおかげで、将来の仕事を考えるのに楽しくも貴重な機会となりました。



講師の方々に挨拶をされる校長先生

小谷一哉先輩の講演を聞いての感想

これから私たちに求められる能力

今回の小谷さんの講演を聞いて私が印象に残っていることは、これから私たちに求められる能力についてです。その能力とは、コミュニケーション能力と創出する能力です。最近ではAIによって消えてしまうだろうと予測される職業があり、残る職業にはこの二つの能力が大きく関わってきます。学校は二つの能力を身につけるのに最適な場所だと思うので、いろんな人と交流し、求められている力を伸ばせるようにしたいと思いました。

これからの時代に向けて

三組 西山 晟叶 さん

これからの時代は人工知能の発達によって、ロボットができることが増え、そのため、創出すること、マニュアル化できないこと、コミュニケーション能力が求められるという内容が印象に残っています。なぜなら、僕は自分で行動することが苦手で、対応しているのかどうか不安に思ったからです。だから、僕はこれからの時代に適応していくために、自分で考え、行動を起こす力を身につけていこうと思いました。



長島聖大先輩の講演を聞いての感想

物事のとらえ方

一組 市原 健士郎 さん

僕は、学芸員の仕事としてどのようなことをしているのかではなく、かめ虫を絶滅させるため大学に入ったが、それぞれの種をさがしているうちに新たに興味を持ったという言葉が印象に残りました。なぜなら、初めはこう思っていたことでも再び考えたり見方を変えたりすることで新しい道が開かれるのではないかと思ったからです。一つ一つのことに意味があることを意識して、どんな見方があるのかを知ることが大切なのだと思いました。

長島さんの講演を聞いて

四組 松本 心 さん

長島さんは自分のしたいことを選んで高校時代を過ごしていて、大学に入るときも入る直前でその大学に入るのをやめて、一年浪人したあと自分の行きたい大学に入ったというふうにして、自分がしたいことを大切にして、人生を生きている方だと思いました。その結果、今も自分の好きなことで生活しているということから、人に言われたらどうか誰かと同じだからではなく、自分が選んだ自分のしたいことをするのが大切だということを学びました。

東井和臣先輩の講演を聞いての感想

彼を知り己を知れば百戦危うからず

一組 官野 照仁 さん

東井さんが社会人の心構えとして示されたタイトルの孫氏の兵法の言葉がとても印象に残りました。相手と自分のことをよく知ってれば何度戦っても負けることはないという意味なので、人生を戦とすれば二千年前も今も人に求められる能力は変わらないのかもしれない。思春期の今は、人間関係の悩みなどを抱えやすい時期ではありますが、そういう時期だからこそ自分や他人についてよく考えることが社会で役立つと思いました。

はばタンはくさい(?)

四組 佐野 正悟 さん

今まで公務員と聞いて僕は、市役所で働いている人や、医者、弁護士、教師といったことくらいしか思い浮かばなかったですが、実際は職種がすごく細かく分かれていてびっくりしました。一つ面白い話だなどおもしろいのが、はばタンの着ぐるみを東井さんは何度か着たことがあるそうで、その着ぐるみは暑苦しい上に洗濯ができないので、くさくなってしまうそうです。大変だなと思いました。今後もさまざまなことを知り、将来に生かしたいと思います。



横田隼一郎先輩の講演を聞いての感想

仕事のお話を聞いて

二組 古田 有希 さん

私は今まで臨床検査技師について名前は聞いたことがあっても、詳しい仕事内容について知りませんでした。今回の講義で臨床検査技師は病院におけるほとんどの検査に携わっており、患者さんの命を救うためになくてはならない大事な存在だということが分かりました。また、大学での話を聞いて、実習や授業数が多く、普通の大学生よりも大変そうだったけれど、その分やりがいもあると思いました。これからもいろいろなお話を聞いて自分の進路に役立てたいです。

医療現場に欠かせない存在

三組 早川 静香 さん

臨床検査技師は医師の指示のもとさまざまな臨床検査を行う技術者で、病院におけるほとんどの検査に携わっています。検査の際には、検査結果での異常なのか、それとも機械の異常なのかを見極める役割も担っており、判断には高度な技術と専門知識が必要です。また、輸血時の適合検査や遺伝子の検出など、幅広い分野で活躍していることに感銘を受けました。臨床検査技師は裏方のような存在ですが、医療を支える重要な役割を果たしている、とても魅力的な職業だと思いました。



田路隆了先輩の講演を聞いての感想

OB・OG講演会を聞いて

四組 田路 悠華 さん

私は田路様の講座を受けて、働く人の高齢化が進んでいるということが印象に残っています。薬局では、調剤を機械が行うなど機械化が進んでいます。しかし、働く人の高齢化により、機械を使うことができる薬剤師が減り、医療従事者の需要が高まっていることが分かりました。私は将来、医療関係の仕事に就きたいと思っています。今回の講座で、命に関わる仕事はとても重要な仕事だと改めて感じたので、夢を叶えられよう頑張りたいです。

お話を聞いて思ったこと

五組 浦川 凜菜 さん

みなさんは薬剤師についてどのようなイメージをお持ちですか？「薬を渡してくれる人」「頭がよさそう」そんなイメージが多いと思います。私も同様に薬剤師の方たちについて薬とずつつきあっている仕事だと思っていました。しかし、今回、田路さんは薬剤師は人と向き合っていくことが多い仕事だ、と教えてくださいました。私たちの持っているイメージは、実際と違うことが少なくありません。私たちは、現場の方たちから話をうかがえる機会をさらに大切にしていくなければならないと思います。



原美紗稀先輩の講演を聞いての感想（リモート）

大学生活に向けて今すること

二組 井上 珠里 さん

原さんのお話を聞いて、放射線技師は患者さんの命に関わるとても重要な仕事だということを知りました。また、原さんが人に教わることを恥ずかしがらないことが大切だと言われていたことが、印象に残りました。そして、どの分野でもコミュニケーション力が大切だと仰っていました。これからは迷わずに人に聞いて、学びを深めていきたいです。原さんの楽しかった大学生活の話を聞いて、充実した大学生活を送れるよう勉強を頑張りたいと思いました。

実りある時間

五組 丸山 瑞誉 さん

放射線技師の原さんは、毎日患者さんを見て検査をして病気の原因を特定しています。そんな多忙な中でも自分の好きなことを全力で楽しんでいる姿が印象的でした。高校生活と勉強は切り離せないけれど、好きなことと両立させてメリハリある生活を心がけたいです。講演会では大学進学への難しさと、仕事に対するやりがいを知ることができて、前向きな気持ちを持てずにいた私を変えてくれる実りのある時間となりました。



牧村実県教育委員による講演会

七月十二日（水）五・六校時に、牧村実先生の講演会がありました。

牧村先生は、京都大学を卒業された工学博士で、神戸市に本社を置く川崎重工業株式会社に常務執行役員や技術開発本部長を歴任されたエンジニアです。牧村先生は、現在兵庫県の教育委員でいらっしやいます。その縁で今回の講演会が実現しました。

世界的な大企業で、最先端の技術を生み出してこられた先生のお話は刺激的で興味深いものでした。当初、ご講演が60分、質疑応答が10分の予定でしたが、予定時間を大幅に超えて講演会は終了しました。それでは、謝辞と感想を掲載します。



謝辞

一組 福本 愛 さん

私は今まで、どんどん新しい技術に変わっていくことに不安を感じていましたが、今回、最先端の技術に関わる企業さんの思いやこだわり、環境のための取り組みを知って、テクノロジ産業は夢のある分野だと思えました。今は、免許がないので乗れませんが、いつかはZmpa H2に乗ってみたいです。また、チーム全員の信頼関係を大切に、未来を見ずえてだれよりも早く行動することで、このような素晴らしい技術ができ、世の中が良くなっていくのだと学びました。本日は、本当にありがとうございました。

最先端のテクノロジー

一組 山本 夏蓮 さん

世の中はどんどん新たな技術を導入して、これからどうなっていくんだろう。どんな仕組みなんだろう。何も知らなかったけれど、今日の講演を聞いて少しは理解できたと思うので良かったです。私が一番印象に残ったのは、「未来を切り拓く水素エネルギー」です。日本のエネルギーの自給率が11.2%しかないと聞いて、思っていた以上に低くて驚きました。日本でも火力発電が主に使われているためにCO2を排出して、地球環境に影響があります。水素を作って、運んで、使うっていうのは単純そうなことだけど、この三つが安定するのは全然簡単じゃないです。

今日の講演の終わりの方に、ものづくりにおける仕事の流れの説明がありました。いろいろ担当が分かれていて、その一つ一つがとても重要なこと、お話を聞いていてこれってBIZワールドと同じだということな印象を持ちました。目標達成に向けて、将来を見通し、何をすべきかを考えて、責任をもってアクションを起こす。そして失敗を恐れないうことだとも仰っていました。

私はBIZワールドのミサングの会社をもっと頑張らないといけないなと思ったし、もちろんこれからの社会で通用する人になるために、今日言われていた、未来志向で改革を意識した人材だったり、与えられたことはめっちゃやることができるけど、イレギュラーなことが起こった時に対処できないみたいなことがない人材になれるようにしたいです。テクノロジのことを今日は少し身近に感じることができたと思うので良かったです。



→謝辞を述べる福本さん

JTBによる研修旅行の説明会

牧村先生の講演会後の七時間目は、JTBの岡部さんによる研修旅行に関する説明会でした。パスポートの取得の仕方、JTBのホームページへの登録の仕方、保険のことなどの説明がありました。夏休み中にパスポートを取得しましょう。



今後の行事予定（2年生関連）

- 7月
 - 20日（木）GTEC・全校集会
 - 部活動救急法（午後）
 - 21日（金）夏季休業開始
 - 夏季補習・三者面談開始
 - 27日（木）アメリカ語学研修出発
 - ～8月8日
- 8月
 - 2日（水）日タイ友好親善訪問～11日
 - 6日（日）オーストラリア語学研修
 - ～19日
 - 14日（月）学校閉庁日
 - 18日（金）後期補習 ～25日
 - 大掃除
 - 19日（土）第1回オープンハイスクール
 - 30日（水）大掃除・課題考査（午前中）
 - 31日（木）課題考査（午前中）
- 9月
 - 7日（木）寮生集会・寮役員選出
 - 14日（木）除草作業（45分×6限）
 - 21日（木）成績会議
 - 22日（金）いのちの教育講演会 3-4限
 - 成績不振者保護者招集